

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員の氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。



おおしろ せいいち
大城 誠一 議員

■新型コロナウイルス感染症対策

問 広報にしはらでは「接種については、対象となる全ての町民が接種できる体制を整えているので予約がすぐに取れなくてもご安心下さい」とあるが希望者は全員接種できるのか。

福祉部長 国において、必要なワクチン量は確保しており、希望者は接種できると考えている。

問 県からコロナ感染情報として提供されているのは、感染者数の他には何があるか。

健康支援課主幹 感染者一人一人の年代、感染経路等提供がある。

問 西原町の感染状況は、感染者数についてホームページに一周間単位で報告されている。年齢別というのは、担当課では把握できて健康支援課主幹 いるのか。

問 年代別の患者数は。

健康支援課主幹 4月1日～6月6日現在で10歳未満の患者数が11名、10代が22名、20代が39名、30代が19名、40代が22名、50代が31名、60代が14名、70代が10名、80代が2名、90代以上が3名となっている。

問 若い人たちが随分感染しているという事を、町民に強く訴える必要があると思うが。

町長 若い人の感染率が高くなっていることについては、ホームページ等を活用しながら町民に幅広く周知し対策していきたい。

問 認定こども園の創設について

問 先進地の視察等の実施状況は。

総務部長 アンケート調査と訪問によるヒアリング調査を行った。

問 調査項目は。

企画財政課長 ①新制度以前の公立幼稚園の状況②こども園化検討に至った経緯・理由③移行後の形態（幼保連携型、幼稚園型、保育所型）④検討から移行完了までのスケジュール⑤事業者に対する移行前・後の関わり方等。

その他の質問

○町立小中学校における体罰・ハラスメントの有無について

問 町は誰が出席し、どのような意思、意見等を持ち対応したのか。

総務部長 町から上原、棚原地区の自治会長、行政から総務部長と建設部長が委員として参加。住民・町づくりの視点等を意見していくが具体的な提案に至っていない。自主財源につながる議論も含めて考えを示していきたい。

町長 まずは町の思いを伝えていく。細かいことまでは今は公表できない。

問 町民への説明の場は必要と思うが当局の考えは。

総務部長 関係地域については住民との意見交換等も検討していければと考えている。

その他の質問

○今後4年間で特に町長が推し進める事業と具体的な方策は
○新型コロナウイルス感染症との闘いと対策について町長の思いは

■海外移住者子弟研修生受け入れ事業

問 アルゼンチンより1名受け入れ予定は5月頃決定とのことだが、どこまで進んでいるか。

町長 日本や南米の新型コロナウイルス感染状況、事業実施安全性等も踏まえ、苦渋の決断で中止の決定。

問 来年は復帰50周年、世界のウチナンチュ大会もあり、コロナと戦ってきた証を示す年になるかもしれない思いも込めて、3か国を受け入れる考えを持つべきでは。

町長 本当に3か国が呼べる状況にあるのか、予算の問題等を念頭に置いて検討していく。

■琉球大学医学部・病院移転問題

問 「国立大学法人琉球大学上原キャンパス跡地利用将来ビジョン検討委員会」第2回の協議内容は、公表できるか。

総務部長 第1回会議の議事録等の資料は既にホームページで公開。

を減らす狙いがあると言われる。支払いが増える高齢者が受診を控える懸念もあり反対の声もある。収入200万円の保険料は幾らか。

町長 一定の収入以上の人に対する窓口負担を1割から2割負担にする案だが、町としても消費税が増税され生活費を切り詰めて暮らしている中で、大変厳しい状況だと思っ。支払いが増える受診を控えるのはと懸念している。

福祉部長 年金収入200万円の場合、年間8万448円となる。

問 以前の老人医療費を有料化した時の国庫負担は、その医療費に占める割合が政府は45%、今回の後期高齢者医療制度の時には35%

に下げている。元の割合に戻すことだ。後期高齢者医療対象者は西原町で何名か。

福祉保険課長 3,159名である。

問 窓口での2割負担の人数は。

福祉保険課長 442名と想定。

問 現役世代の負担軽減のために2割に上げるわけだが、1人当たり年間幾らの軽減か。

福祉部長 800円の軽減。

問 唯一、地上戦の行われた沖縄県における高齢者は大変厳しい貧しい時代を生き抜いてきた。ここにきて1割から2割に上げるといふのはいかがなものか。

副町長 戦争を経験し、食べ物もろくにない時代に生活のため、一生懸命身を粉にして働いてきた。衣食住に心配することなく、ゆっくりと生活してもらいたいという思いがある。一方で後期高齢者医療費が伸びていることでの改正だと思いが、できれば税によって負担がなされればと思っている。

その他の質問

○街灯設置について
○民生委員・児童委員について

■75歳以上!!「医療費2割負担について」

問 医療費増は国庫負担、公費増で賄うべき。国は現役世代の負担軽減のため、高齢者に負担増を迫っている。2割負担導入は事業者の保険料負担を減らし、公費負担



ぎま のぶこ
儀間 信子 議員

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員の氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。